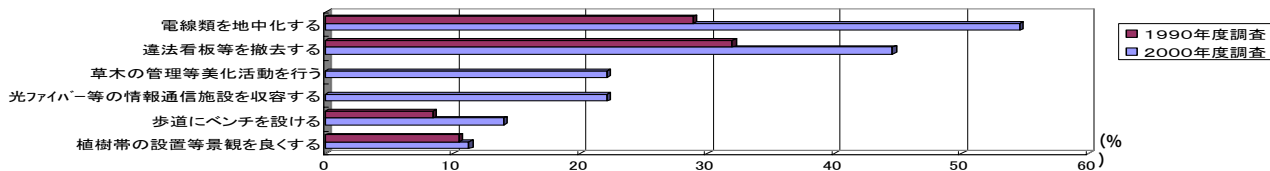


指標：電線地中化率、道路の緑化率

(道路上の景観)

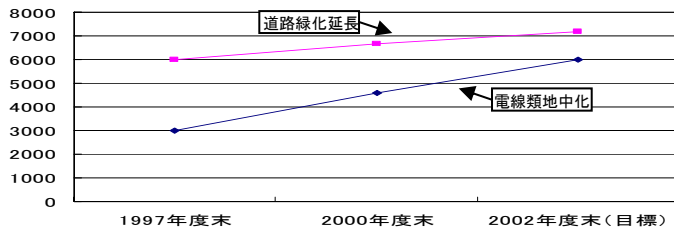
世論調査では、道路空間の快適な利用においては電線類地中化、違法看板の撤去等が重要と考えている人が増えている。電線類地中化、道路緑化は着実に進んでいるが、先進諸外国の首都等と比較すると日本の首都の電柱のない道路の比率(無電柱率)は依然低い状況にある。

道路空間の快適な利用において重要なこと(世論調査)



電線類地中化、道路緑化延長の推移

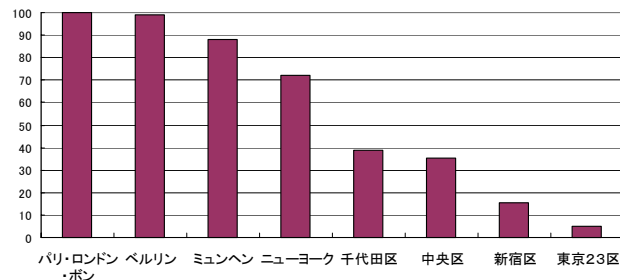
(Km)



注)道路緑化延長とは、DID地区内の完成4車線以上の国道、都道、府県道、市町村道の緑化(植樹帯植樹林、分離帯等いずれか)において植栽された状態)の道路の延長

(%)

道路における無電柱率の比較



(出典)内閣府「道路に関する世論調査(1990、2000年度)」及び国土交通省道路局HPより国土交通省国土計画局作成。

(注)1. 世論調査の回答選択肢のうち「光ファイバー等情報通信施設の収容」、「草木の管理等美化活動を行う」は1990年度調査にはなく、2000年度のみ存在

2. 道路における無電柱率の比較については、海外の都市については電気事業連合会調べ(1977年)、日本の状況については建設省調べ(2003年)